

V-Campus 6th 更新

－ p1.回線 －

1. 概要

p1.回線では、課題である「回線帯域の不足」および「バックアップ回線コストの削減」を目的に構築を実施した。

(1). 回線帯域の不足

V-Campus 5th Stage では、各拠点間ネットワークにおいて 1Gbps の帯域を確保したが、4 年間の実績として、ピーク時のトラフィックが 800Mbps 計測され、近い将来帯域不足は避けられないと判断した。

V-Campus 6th Stage では、この帯域不足の解消を要件とし、各ベンダーに提案頂き、その中でも、選定となったベンダーは、低価格(1Gbps と同価格)で 10Gbps の帯域を提供可能との事で他ベンダーにはない優位性が見られた。

(2). バックアップ回線コストの削減

V-Campus 5th Stage では、バックアップ対策として、商用の Backup 回線を施設していた。実際には、この回線を利用する事はなく、費用のみ掛かっている状態であった。

今回の更新では、この商用回線を削除し、SINET 回線の 2 重化でバックアップ対策を実施した。これにより、商用回線費用が削減された。

2. 更新のポイント

今回の更新で、各拠点間ネットワークを 10Gbps の帯域にしたことで、今後帯域不足に陥ることはなくなった。

池袋 ⇄ 新座のキャンパス間ネットワークについては、これまでの実績値より、最大 400Mbps 程度の通信であるため、今後の増加を勘案しても 1Gbps 専用線での帯域で問題ないと判断した。

3. p1. 回線のまとめ

更新作業に於いては、特に問題なくスムーズに更新作業を行う事が出来た。今回の更新にて、回線での問題は回避されたため、当面は通信状況の監視のみ行っていく。

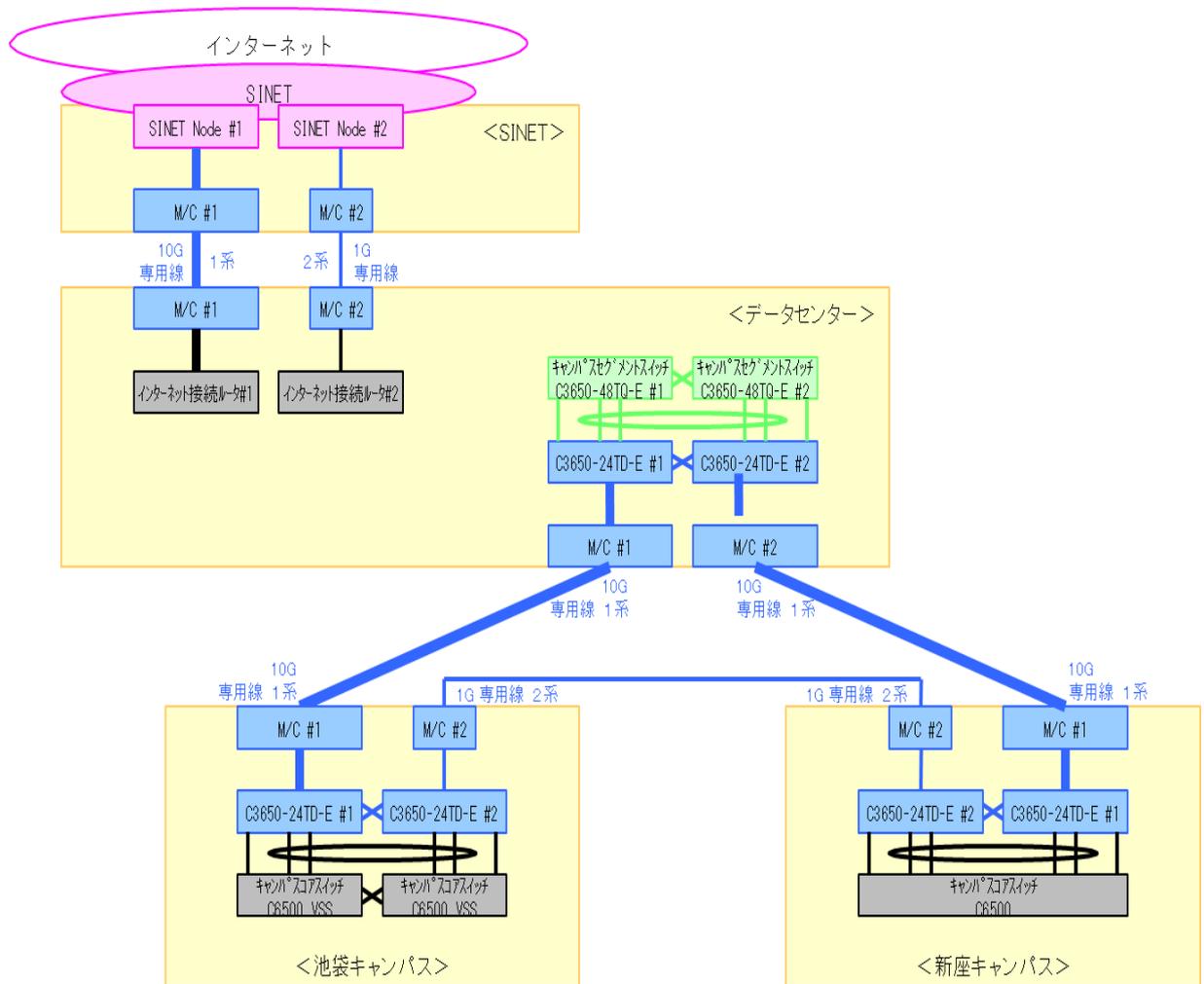


図 1 : 回線概要図